

野外活動授業について —五十嵐の森キャンプサイトを中心に—

教育人間科学部 大橋正春

教養の授業で野外活動を始めてから10年位経ったと思う。その間、サッカー場北西部の一角を五十嵐の森キャンプサイトと称してキャンプサイトとして利用して実践してきた。

五十嵐の森キャンプサイトの名称は昨年からであり、この名前は私の野外活動研究室の学生が昨年、新潟大学50周年記念事業として行ったファミリーキャンプに際して付けた名前である。以来この五十嵐の森キャンプサイトの名称を使っている。

カマドや水場も手作りで、毎年大学本部にお願いしているが、なかなか予算もつかず自分達で草を刈り、枝を払い、修復しつつ続けているのが現状である。

今年も健康スポーツ科学実習II野外活動の授業でこの五十嵐の森キャンプサイトを利用して、平成12年5月11日(木)～5月12日(金)に1泊2日の短いキャンプではあったが学内キャンプを行った。

1日目は午後5時に各班毎に集合し開校式を行い、続いてドームテントの設営法を説明した。最近のテントは素材も軽量化し、誰でも簡単に立てられるようになっており、学生達の間からも驚きの声が上がっていた。テントの中は天井も高く、居住性も昔のテントとは比べものにならないほど良くなっている。さらに飯盒の使い方、ナタの使い方を説明した。

夕飯作りは各班毎にカマドを使いマキを利用して行ったが、いつもガスをひねれば即何でも調理できる生活に慣れていて、なかなかマキに火が点かず苦労していた。

メニューは、鉄板焼き、カレー、シチューなど様々であったが、各班とも時間はかかったが、お

いしように食べていたことが印象に残っている。

課題の一つとして飯盒でご飯を炊くことを課したが、こげた班もあったが良くできたほうであった。

食後の後片付けをし、休憩を取った後キャンプファイアーを行った。

マキを組み、全員で火を見つめながら行うキャンプファイアーはなぜか神秘的で、心まで暖かくさせてくれるから不思議である。さらに空には星座である夏の大三角形が雲の間から見え隠れはしていたものの時々姿をあらわし、このこともまたすばらしいものがあった。

大学にいてもこのようにキャンプサイトでじっくりと友達同士語り合う機会はそう多くはないのが現状であり、このようなキャンプはまたとない機会である。

事後に提出された感想文にも、

「学校での1泊2日のキャンプでしたが、新たに友人も増えとても有意義なものでした。現在の日本では人間関係が希薄になっているといえます。しかし、キャンプはあらたな人間関係を生み豊かにしてくれる1つの方法だといえます。人間関係の希薄な現在に、これからもっと活発に行うべきだと思いました。

そのためにも、大学でもこのような野外活動の講義を多く取り入れて欲しいと思います。そして、大学にあるキャンプサイトを充実させ、いつでも誰でも利用できるようになったらいいと考えます。」

以上、述べてあるように、大学でのキャンプの印象が強く感じられる文章であった。

そして、テント泊をした感想として、

「テントにとまるという経験をしたことがなかつ

たので、このキャンプを楽しみにしていたし、期待通りの楽しさを味わえたのでとてもよい印象が残っている。」

や、

「キャンプで良かった事はいろんな人と話をして親しくなれた事、それは自分の中でとても大事だと思っていて、人と話をすることで色々学べるし、自分も知ってもらえるし……

深く話し合える人をたくさん作りたかった。」

さらに、

「テントに泊まったり、寝袋で寝たりしたことがなく、まさか大学生になってから、学校でキャンプができるとは思ってなかったのでこの授業がとても楽しみだった。」

とあるように、この授業はいろんな学部の学生が履修しており、普段ではじっくり話もできない学生同士が、火を囲みながらテントでシュラフに入ってゆっくりと話ができた証であろう。

さらに、

「グラウンドでやったのが良かった。僕はラクロス部でいつもグラウンドを使っているが、夜静かになったグラウンドは風情があり、哀愁が漂っていた。」と感想に述べている。

このように、五十嵐の森キャンプサイトは教養体育の授業として学生たちに有効な役割を果たしているといえよう。さらに、この授業以外にも専門体育の野外活動、別科体育のキャンプなどで実施されており、今年も昨年に続き、一般市民対象のファミリーキャンプが8月26・27日の日程で行われ、盛会のうちに終了することができ、参加者からも大学の中にこのような施設があることが始めてわかった。是非毎年ファミリーキャンプを実施して欲しいとの強い要望も受けている。今後、野外活動授業を通して五十嵐の森キャンプサイトの充実と整備を進めて、プログラムの検討をしより良い授業を進めていきたい。

さらに、全学で誰もが利用できるようなすばらしい五十嵐の森キャンプサイトにしていきたい。

五十嵐の森キャンプ実習要綱

○目的 キャンプの基礎技術の習得と運営法について学ぶ

○期 日 平成12年5月11日(木)～12日(金)

○場 所 新潟大学 五十嵐の森キャンプ場

○集 合 17時 五十嵐の森キャンプ場

○日 程

5月11日(木)

17:00 五十嵐の森キャンプ場集合

17:15 開校式

17:30 テント設営

18:00 夕食準備、飯盒炊飯

20:00 自由時間

21:00 キャンプファイアー

22:30 就寝

5月12日(金)

6:00 起床

6:30 朝食準備

7:30 後片付け

8:30 解散

○持ち物 朝・夕食の食材、料理に必要な調味料、着替え、保険証、洗面用具、タオル、懐中電灯